

内モンゴル東部農村地域におけるモンゴル人女性の結婚相手選択に関する考察 —2人の未婚女性のライフストーリー分析を通じて—

烏英嘎（中央大学社会科学研究所準研究員）

本研究では、男性の結婚難問題が存在している内モンゴル東部農村地域の未婚モンゴル人女性のライフストーリーを分析し、彼女らが自らの恋愛経験をいかに語り、解釈し、また、いかに結婚相手を選択しているのかを考察することを目的としている。モンゴル人女性の結婚相手の選択に関する既存研究では、主にモンゴル族の通婚現象の増加（苏・賽 2005；郝・包 2010）、出稼ぎ活動の活発化（張 2015；呂 2016；烏 2022）や女性の意識変容（玉 2008）につれ、モンゴル人女性の結婚相手の選択領域が拡大し、選択肢が増えていると主張している。また、既存の研究では、女性の結婚相手の選択に関して、男性の結婚難問題と関連づけて量的な質問紙調査から分析するのが一般的であるが、未婚女性が自分の恋愛経験をいかに解釈し、いかに結婚相手の選択をしているかという意味世界に対する考察がまだ不十分である。

そこで、2024年3月15日に33歳のAさんに約2時間のWeChatの通話機能による半構造化インタビュー調査を行い、2024年の3月18日に同様な方法で27歳のBさんに約2時間半の半構造化インタビュー調査を行った。質問項目として、主に、調査対象者が社会人（学校を卒業か中退）になってからの「恋愛経験」、「結婚相手への期待」、「将来の人生設計」などを聞き、未婚モンゴル人女性がいかに結婚相手を選択しているかを把握する。インタビューの場で構成された語り手のライフストーリーを十分に理解し、分析するために、調査者（筆者）の立場性を明確にししながら、語り手による語りの意味付け、解釈を考察した。

その結果、未婚女性たちの語りから、結婚相手を選択する際に以下の事実が存在することが明らかになった。①農村に生活し、伝統的な結婚観を持つ親と個人主義の影響を受けた娘の間において葛藤が生じることが多くあるが、未婚女性が最終決定権を握っている。②未婚女性たちは、結婚相手を選択するとき、相手に対して物質的な条件といった外的な要因よりも、むしろ相手の内面的な魅力に重きを置いている。③未婚女性たちは結婚後に安定した生活を送るために、その生活にふさわしい人を結婚相手として選んでいる。

（キーワード：農村地域 未婚モンゴル女性 結婚相手の選択）